IgG4	7460500
	担当部署
IgG4	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部				
測定時間	当日中～翌日				
生物学的基準範囲	11～121mg/dL N-ｱｯｾｲ LA IgG4 ﾆｯﾄｰﾎﾞｰ　試薬添付文書				
臨床判断値	設定なし				
基準値				単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
11	121	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
ﾊﾟﾆｯｸ値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因	特記事項なし				
臨床的意義	2001 年に自己免疫性膵炎に高率に IgG4 血症を認めることが明らかにされて以来、近年、IgG4 関連疾患が新規疾患として注目されている。 しかし、未だその概念や診断・治療法は確立されてはいない。 現状では、リンパ球と IgG4 陽性形質細胞の著しい浸潤と線維化により、同時性あるいは異時性に全身諸臓器の腫大や結節・肥厚性病変などを認める原因不明の疾患であると考えられている。 146 ﾓﾀﾞﾝﾒﾃﾞｨｱ 57 巻 5 号 2011［新しい検査法］IgG4 測定方法と正常値、診断的意義				